

凧網握り深まる絆

平成14年白根大凧合戦

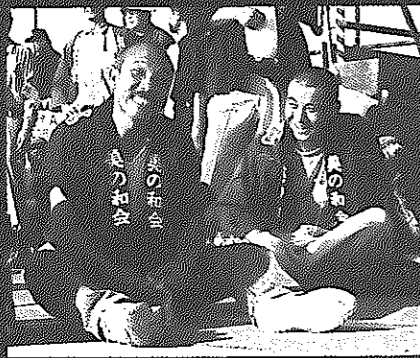
六月六日から十日までの五日間、中ノ川堤防上で白根大凧合戦が行われました。

晴天が続いたものの、初日、二日目以外は北風に恵まれず、西風や無風状態に悩まされた今年の大凧合戦。しかし、その悪条件の中でも揚げ手たちは心を一つにし、大凧を大空へと送り出しました。

ワールドカップ開催期間と重なった今年。県内外はもとより、国外からも、勇壮な白根大凧合戦を「観戦」するため約十七万三千人が訪れ、大凧が空に舞うたび歓声を上げていました。



▲心を一つにし、勝負を制した大高組。西軍に向かい勝利の雄たけび



▲ひと勝負終え、ぐったりと地面に座り込む巻凧の揚げ手

凧合戦の結果

〈大凧〉

—優勝の部—

優勝 役者組・本新蝶組・一心太助組
④桜蝶組・謙信組・日吉丸組

—技能の部—

①役者組・本新蝶組・一心太助組

〈巻凧〉

—優勝の部—

優勝・山崎ヒューム管組 準優勝・わらじ会組 ③一心会組 ④七生会組
⑤二六童会組 ⑥さんじ会組

—技能の部—

①山崎ヒューム管組 ②わらじ会組

③小槌会組 ④さんじ会組 ⑤一心会組 ⑥二六童会組・木川組

▼強い西風にあおられ、西側揚げ手が綱を離し、東側堤防上に墜落寸前の鯛町。近くにいた人や他組の揚げ手が、凧を無傷で降ろそうと奮闘。川を越え凧を想う心が伝わる

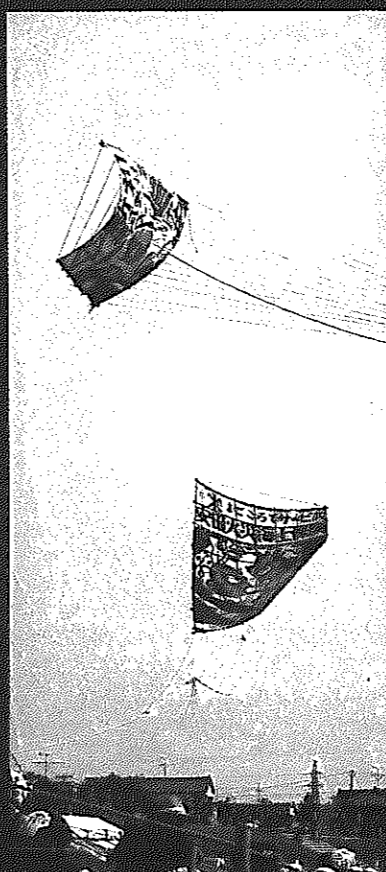


▲摩擦で凧網が傷まないよう水をかけ、いざ勝負



▶長さ約百三十メートル、重さ約四十キログラムの凧網。その大半を肩に掛け、全力疾走する

▶上空から大高に狙いを定め、一気に振りかぶる弁慶



▼「うわー」。大凧の勇壮な姿に歓声と拍手が沸き起こる

